



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年4月14日(日) 9:30~12:00(晴)

参加者 一般:6名

指導員:4名

テーマ 紫・青系統の花を観よう

開花が遅かった今年のソメイヨシノもおおかた散ってしまいました。桜の頃は淡いピンク色がよく目につきましたが、春といえばタンポポや菜の花など黄色も多く見られます。今回、それら程は目立たないかもしれませんが、紫から青の系統の色の花に注目して回りました。

春先に紫の花といえば、まずはスミレ類でしょう。園内の桜などの根元や堤防道路の脇にヒメスミレが、大野極楽寺公園北側の堤防法面にはスミレが多く見られます。「ヒメ」とつくると小さいというイメージがあり、実際、スミレより花が小さいものが多いのですが、中には同じくらいのサイズのものもあります。見分け方は、スミレは葉柄に翼が目立ちますが、ヒメスミレはほとんどないこと、またヒメスミレの葉の裏は紫色を帯びているものが多いことです。スミレ類はツマグロヒョウモンの幼虫の食草なので、生えている辺りで羽化したばかりと思われる成虫が飛んでいました。

堤防法面ではマツバウンランとオオマツバウンランが咲いていました。どちらも紫・青系統の花ですが、見比べると花の大きさのほか、マツバウンランは紫色に近く、花卉の白い模様がはっきりわかるのに対し、オオマツバウンランは青味が強く、白い模様ははっきりしません。(ただ、個体差があり紛らわしいものにも出会います。)

その他、紫・青系統の花はカラスノエンドウ、カスマグサ、ホトケノザ、キランソウ、カキドオシ、ムラサキケマンなどが観察できました。また、昨年見たムサシアブミも同じ場所で黒紫色の花をつけていました。

鳥はキビタキの姿が見えたほか、センダイムシクイ、サンショウクイといった夏鳥の囀りが流れていました。

途中で毎日この公園を歩いているという人からオオタカが営巣していると教えてもらいました。先月、鳴声が聞かれた竹藪の中の木の上に巣がありましたが、竹の陰に隠れて分かりにくい場所です。一昨年は1km程西側のモクバラの林の中で営巣し、無事に巣立ちしましたが、今年も元気な姿が見たいものです。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

花:(紫・青系) セイヨウジュウニヒトエ、ヒメオドリコソウ、アケビ、ベニバナトキワマンサク、キュウリグサ、オオイヌノフグリ、ネモフィラ (赤・ピンク) フゲンソウ、シダレザクラの仲間、ヤブツバキ、ヒメウス、(黄) シナレンギョウ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、ヤブタバコ、ヒメブタナ、コメツブツメクサ、ヘビイチゴ、カタバミ、(白) アメリカザイフリボク、ユキヤナギ、ノミノツツリ、コハコベ、オランダミミナグサ、スズメノエンドウ、シロツメクサ、ナガバオモダカ、ハルジオン、シロバナタンポポ、クサイチゴ 蕾:アキグミ

鳥:トビ、キジバト、ツグミ、シメ、ツバメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、メジロ、シジュウカラ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ウグイス(声)、キジ(声)

虫:モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ベニシジミ、ツバメシジミ、キタテハ、クロコノマチョウ、ナミテントウ、マダラガガンボsp



(樹などの根元でヒメスミレを観察)



スミレに似ているヒメスミレ



花が小さいマツバウンラン



増えてきたオオマツバウンラン



誰が植えたかムサシアブミ